

科目名	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）			ナンバリング	858012	授業形態	0
対象学年	1 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	窪田文子〇	担当教員					

授業の概要	臨床心理面接を実践する基礎として、臨床心理面接の特徴、面接のプロセス、様々な心理療法の理論と方法、心理に関する相談・助言・指導等への心理療法技法の応用、支援を要する者への適切な支援方法の選択・調整等について、具体的・実践的に理解することを目的とする。						
到達目標	1. 臨床心理面接の特徴について説明できる。 2. 臨床心理面接のプロセスについて説明できる。 3. 様々な心理療法の理論と方法について説明できる。 4. 心理に関する相談、助言、指導等への心理療法技法の応用について説明できる。 5. 心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整について説明できる。 6. 臨床心理面接のなかで生じるさまざまな問題点とそれへの対応の仕方を説明できる。						
学習のアドバイス （勉強方法、履修に必要な予備知識など）	毎回指定された資料を熟読し、ポイントを自分の言葉でまとめること。そして、それについて、他の履修者とディスカッションができるように準備してくること。						
ディプロマポリシーとの関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
		1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
		2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
	○	3. 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
	○	4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
		5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
臨床心理面接の目的、様々な心理療法の理論と方法、その応用などについて理解し、適切に説明できる。	臨床心理面接の目的、様々な心理療法の理論と方法、その応用などについて十分理解し、自分の言葉で明確に説明できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験（中間・期末試験）							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
予習レポート	○	○			○		25%
復習レポート		○	○		○		25%
最終レポート	○	○	○		○		25%
ディスカッションテーマの設定と意見交換		○	○	○			25%

課題、評価のフィードバック	各自持参したまとめについて、授業時のディスカッションの中でコメントを行う。
---------------	---------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	臨床心理面接の特徴	臨床心理面接の特徴について、他の面接と比較しながらその輪郭を明らかにする。	
	第2回	臨床心理面接の目的	臨床心理面接の目的について理解する。	
	第3回	臨床心理面接のプロセス1	インテーク面接の目的と進め方、心理学的処遇について概観する。	
	第4回	臨床心理面接のプロセス2	臨床心理面接の枠組みの設定と継続面接の進め方について概観する。	
	第5回	臨床心理面接のプロセス3	臨床心理面接の記録の意義、臨床心理面接の終結とそれに伴う諸問題について明らかにする。	
	第6回	臨床心理面接の理論と方法1	力動論に基づく臨床心理面接の理論と方法について明らかにする。	
	第7回	臨床心理面接の理論と方法2	行動論・認知論に基づく臨床心理面接の理論と方法について明らかにする。	
	第8回	臨床心理面接の理論と方法3	人間性心理学に基づく臨床心理面接の理論と方法について明らかにする。	
	第9回	臨床心理面接の理論と方法4	システム論に基づく臨床心理面接の理論と方法について明らかにする。	
	第10回	臨床心理面接の理論と方法5	社会構築主義に基づく臨床心理面接の理論と方法について明らかにする。	
	第11回	臨床心理面接の実際2	心理に関する相談、助言、指導等への臨床心理面接技法の応用について明らかにする。	
	第12回	臨床心理面接の実際2	心理に関する相談、助言、指導等への臨床心理面接技法の応用について明らかにする。	
	第13回	支援方法の選択・調整	心理に関する支援を要する者の特性や状況に応じた適切な支援方法の選択・調整について明らかにする。	
	第14回	社会的資源の活用	臨床心理面接における社会的資源の活用について明らかにする。	
	第15回	まとめ	これまでの学修を基に、臨床心理面接の特徴やプロセス等について明らかにする。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		指定した資料をまとめ、履修者相互でディスカッションするテーマを持ってくる。授業では、履修者各自のディスカッションテーマについて意見交換をし、理解を深める。		
授業外学習の指示		受講前には、指定した資料を熟読しまとめる。授業後は、ディスカッションを振り返り、気づいたこと、考えたことをまとめる。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	教科書を使用しない。
参考書	鑪幹八郎・名島潤慈(2010)心理臨床家の手引き 誠信書房 大塚義孝他監修(2004) 臨床心理学全書8 臨床心理面接技法1～臨床心理学全書10 臨床心理面接技法3 誠信書房 臨床心理学体系7 心理療法①～臨床心理学体系9 心理療法③ 金子書房
参考URLなど	
その他	